

①時間を気にして進めましょう

参加者全員が発言できるように、1回の発言時間が長くなりすぎないように気をつけ、簡潔な発言になるよう心がけましょう。

②お互いの発言を尊重しましょう

お互いの発言を尊重して、他の人の発言を否定するのではなく、疑問点や理解できない点があれば質問するように心がけましょう。

また、特定の個人や団体などを誹謗中傷するような発言は控えましょう。

③スムーズな進行に協力しましょう

意見交換の間は、進行役（ファシリテーター）の指示に従い、スムーズな進行ができるよう協力しましょう。

④活発な意見交換のために遠慮せずに発言しましょう

活発な意見交換ができるように、思いついた意見は遠慮せず、積極的に発言するようにしましょう。

⑤テーマと関係のない発言は避けましょう

ただし、時間が限られていますので、意見交換のテーマと関係のない発言は避けましょう。



NPO と行政の協働についての基本姿勢（意見交換）

あいち協働ルールブック 2004 ～NPO と行政の協働促進に向けて～より

(行政と NPO 共通の基本姿勢)

- ・ 行政と NPO は、双方の良さ、得意分野を活かすために、お互いの立場の違いを尊重する。
- ・ 地域において取組みが必要な課題やテーマについて、共通認識が持てるように、行政、NPO の双方が努める。  
また、共通認識が持てないまでも、双方の接点が見出せるように努力する。

(行政の基本姿勢)

- ・ 行政は、幅広い部局において、NPO との情報交換・意見交換を継続的に行うよう努める。
- ・ 行政は、行政内部で横断的に、地域の課題や NPO に関する情報交換や意見交換を行うことによって、組織横断的な課題やテーマに対して協働に取り組むよう努める。

(NPO の基本姿勢)

- ・ NPO は行政への一方的な批判や要求を行うだけにとどまらず、課題解決に向けて建設的な意見交換や提言を行うよう努める。
- ・ 中間支援団体や中間支援機能をもった NPO は、現場の情報をできる限り収集しながら各分野の NPO の意見表明を支援するよう努める。

あいち住まい・まちづくりマスタープラン見直しに向けた  
第2回 NPO等意見交換会

テーマ：高齢者のための住まいについて

13:30 開会  
あいさつ

13:35 NPO等意見交換会の開催について

13:40 本日のテーマについて

..... ~第1部~ .....

13:50 グループワーク(テーブルごと)

- 自己紹介など(所属、興味あるテーマなど)
- 検討項目決め
- 意見交換
  - ①テーマに関する現状認識、課題(40分)
  - ②テーマに関する提案(40分)

15:20 各グループの成果発表準備

15:30 休憩

..... ~第2部~ .....

15:40 グループ発表と有識者等との意見交換  
(第2回高齢者居住部会)

- 各グループ発表(各5分)
- 発表についての意見交換(各15分)
- 全体について意見交換(10分)

16:50 講評

17:00 閉会

## 本日の意見交換会のテーマとグループワークでの主な検討項目

### 本日のテーマ

### 高齢者のための住まいについて

下記検討項目を中心に、現状課題の認識、提案等について意見交換します。  
なお、「地域コミュニティの再生」や「住まい・まちづくりの各主体が担う役割」の観点も含めるものとします。

#### 検討項目①

### 高齢者向けの(民間賃貸)住宅の供給促進

- 年金生活でも入居できるような介護サービス付き住宅の供給は、どのようにすれば実現できるか。
- 高齢者向け賃貸住宅の登録を引き上げるには、どのような取組が必要か。
- 高齢者が身体の状態やライフスタイルに合った住宅・施設などへ住み替えをしやすいするためには、どのような仕組みが必要か。 等

#### 検討項目②

### 高齢者が住み慣れた自宅や地域で住み続けるための取組

- 高齢者が住み慣れた地域で住み続けていくためには、どのような活動や取組が必要か。また、そうした活動を取り込んだ高齢者向け住宅はどうすれば実現できるか。
- 高齢者の住む住宅のバリアフリー化を促進するために有効な方策はどのようなものがあるか。
- 地域の自主的な高齢者の見守り活動などを活性化するには、どのような取組が必要か。 等

## MEMO